

no.383

01

2025.1.5

発行：みなと元町タウン協議会 住所：〒650-0022 神戸市中央区元町通 3-13-1 協和会館内
発行人：片山泰造 編集人：平松日出雄 電話・FAX:078-391-0831 表紙写真：中多英二

季刊

みなと元町

タウンニュース

TOWN NEWS

MOTOMACHI

迎春

Kobe Motomachi

おっ！散歩

- 街角川柳とエッセイ -

春を抱く

空と会議の

最中です

詠人 喜康

今から 157 年前、他都市に遅れて神戸が開港した時、海上から祝砲を打ち上げてくれたイギリスの艦船「ロドニー号」。神戸開港 120 年と、元町六丁目商店街のアーケード完成のお祝いで、ここにやってきたのは、昭和 62 年 11 月のことだ。神戸の「新しい朝」を見届けてくれた「ロドニー号」が、この元町商店街の上から、人の行き来、営みを眺めながら、何を思っているのだろうか。今や、ほとんどの人が、その存在にすら気がついていないのにね…。ゴメンネ。

私もいつも急ぎ足で過ぎていく「ロドニー号」の下。時々、上を向いて歩こう。

潮崎孝代

まちで暮らす人への優しい空間に 生まれ変わる旧・源ペイ跡

合資会社ゼンクリエイト 根津昌彦

2025 年は穏やかな天候で新年を迎えることができた。今年は 55 年ぶりの大阪での万博が開催される年。1970 年生まれの私は両親にだっこされて万博に行っていたようであるが、もちろん記憶はない。1990 年の大阪の花博は、女子大生との合コンでいったが、パビリオンの記憶が全くないので、パビリオンに入ってワクワクしたという話聞く 1970 年万博に行った親世代が羨ましかった。そういう意味では、いろいろと批判の対象となっている今回の大阪・関西万博であるが、個人的にはパビリオンをめぐってワクワクしたいという期待が大きいので、会期中、何とか足を運びたいと願っている。

さてさて、今回は前号でも触れた「旧・居酒屋源ペイ跡のポケットパーク」の整備の話詳しくお話させていただきましょう。

話は、少し遡って、2023 年 6 月のタウン協総会で承認を得て、翌月神戸市に提案した「JR 神戸駅・ハーバーロード周辺のまちづくり構想」は、これまでも報告してきたように、大変スピーディーに提案した構想が具現化していている。D51 前道路の歩行者専用道路化（広場化）やきらら広場の再整備は、神戸市の担当部局との協議によって、社会実験や実施設計などが今年度進められたが、旧・源ペイ跡は神戸高速鉄道株式会社の所有地であり民活事業である。まちづくり構想の検討を始める段階で、これまでタウン協とあまりと接点のなかった神戸高速鉄道に対して、ぜひとも構想づくりのワーキングに職員の方を派遣いただき、まちづくりと一緒にしていきたいということを要請したところ、快くワーキングメンバーに加わっていただけた。そのような経過も後押し



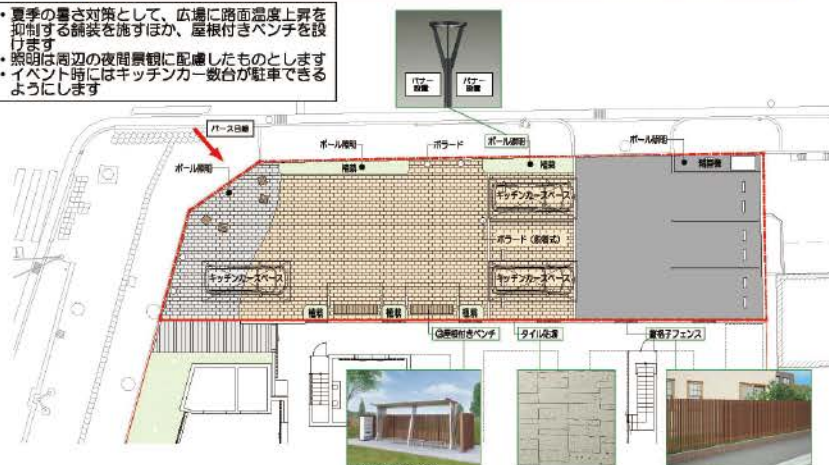
相生町広場 イメージパース (昼間)

本イメージパースは、計画内容に基づき作成しておりますが、詳細な内容を反映できていない箇所があります。また、今後の検討・協議・関係各課との協議・指導により変更となる場合があります。

2023年7月に、みなと元町タウン協議会が策定された「JR神戸駅・ハーバーロード周辺のまちづくり構想」に基づき、まちに開けた広場を整備する計画です。詳細については同協議会のご意見をお聞きしながら検討を進めてまいります。

神戸高速鉄道株式会社

- ・夏季の暑さ対策として、広場に路面温度上昇を抑制する舗装を施すほか、屋根付きベンチを設けます
- ・照明は周辺の夜間景観に配慮したものとします
- ・イベント時にはキッチンカー数台が駐車できるようにします



一辺10mの模型を撮影

※本図は設計中の図面であるため、関係各所との調整・今後の計画状況により変更となる場合があります。

して、まちづくり構想の検討と並行して、神戸高速鉄道において、同社所有地の利活用について検討・調整を進めていただき、このほど開発計画の全容がまとまったところである。

旧・居酒屋源べい跡地の角地に約300㎡のポケットパークと時間貸し駐車場が整備される予定。隣接する土地には、定期借地権付分譲マンションが建設される。

ポケットパークは、私たちまち側の要望を最大限に取り入れてくださり、できるだけ見通しよく、なるよう高木や遊具などの設置は極力控えた自由広場的な空間としている。駐車場の広場側半分は、舗装のしつらえを広場側と合わせた仕様にする事で、イベント時には一体的に空間を利用することができるようにした。また、夜間は神戸駅から元町商店街の灯りのネットワークが形成できるように、間接照明などをうまく利用して、温かみのあるやわらかな明るい空間となるように整備する予定としている。

ポケットパークのレイアウト案と完成予想図2種を掲載した。広場は2027年に全体竣工予定とのこと。今後さらに詳細の使い方やデザインなどについては、ハーバーロード・ワーキングにて協議していくので、こんな使い方ができればという利用者としての意見があれば、タウン協までぜひともお寄せいただきたい。



相生町広場 イメージパース（夜間）

本イメージパースは、計画内容に基づき作成しておりますが、詳細な内容を反映できていない箇所があります。また、今後の検討・協議・関係各課との協議・指導により変更となる場合があります。

こんなことがありました。

萩原大吾

たちばな障害者相談支援センター

中央区自立支援協議会では、毎年12月3日～9日の障害者週間に併せて清掃活動を実施しています。

中央区自立支援協議会とは、当事者、家族、障害福祉に携わる事業所、医療、ボランティア団体、学校、行政など約140団体が加盟し、障害福祉の啓発活動や社会参加、障害福祉の課題などを協議する会であります。

12月4日神戸駅東地区では約70名の協議会会員の皆さまが参加し、周辺企業の皆さまと合同で清掃活動を行いました。企業社員の方々、地域住民の方々との顔の見える関係づくりや、事業所間での交流をすることが出来ました。

今年で14回目を迎えた清掃活動ですが、年々参加してくれる事業所が増え、盛り上がり来ております。それぞれの事業所の周りでも、清掃活動に取り組んでおりますので、お見かけした際は、「ありがとう」や「頑張ってね」などの励ましの声を掛けて頂けると幸いです。



ぶ・ら・ぶ・ら・ら・こ・か！

今も昔も、元町商店街を、ブラブラ

その昔、筆者が小学生だった頃、両親とよくこの商店街を歩いたものです。各丁のアーケード下の路も色々思い出があります。その時代は住宅も店と一緒にあり、お店を訪ねては、一緒に昆虫採集に山へ行ったりしました。そうです。ハイカラなお店の奥に純な住宅がありびっくりしたものです。住宅地に住んでいた小学生の筆者は環境に違いについていけませんでした。でも、うらやましくもありました。隣がケーキ屋さんで、いいなあと思っていました。今もそのお友達のお店は営業していますが、お友達は住宅地にお引越してしまったので、小学生だったころのように、気軽に「こんにちわ！」と、訪ねていけなくなりました。

当時、そのお友達のお店は西元町にあったので、三越に隣接していたと記憶しています。三越には屋上やあちこちに、石彫の動物達がおかれていました。当時、他の百貨店になかった設えだったので感心していました。このさっすがの展示技術が今も引き継がれています。商店街の1～6丁目アーケード下には、沢山の立体作品が展示されています。探しながらの元ブラは粋なものだとも思います。

宮崎みよし みよしプランニング



1960年代のモダニズム建築

山岡哲哉 株式会社山岡哲哉建築設計事務所 代表 / (公社)日本建築家協会近畿支部兵庫地域会 地域まちづくり委員長

私は1966年生まれ、高度経済成長の時代に生まれ、育ちました。当時の日本は戦後を脱却し夢と希望に満ち溢れ、今日より明日、今年より来年が、より良くなっていくと、誰もが信じていた時代でした。

建築の世界でも、当時の日本人建築家のデザインは、自信にあふれ、大胆で、力強く、世界に向けて挑戦するようなものも多く、私はそれらの建築を「大建築」とよんで、愛でています。

「大建築」の定義は「大きい建築」という意味ではなく「偉大な」とか「大物の」という意味で、1950年代後半から1970年代前半までの日本のモダニズム建築、特に迫力満点な骨太パワフル建築としています。



日南文化センター（丹下健三 1962）



都城市民会館（菊竹清訓 1966）



宮崎県総合青少年センター（坂倉建築研究所 1974）

これらの建築は当時の空気を反映して、技術的にも野心的で、またアポロ計画やサンダーバード等のテレビの影響か、宇宙的、科学的なデザインに満ち溢れています。

1970年の大阪万博をピークに、オイルショックで高度経済成長が終わる1970年代まで日本中に「大建築」が建てられていきました。

しかしながらこれらのパワフル建築も、建設後50年以上を経過した現代では、老朽化、耐震性不足、機能が時代にあわない等の理由で取り壊され始めています。写真の都城市民会館も今は存在しません。

DOCOMOMO Japanでは日本の近代建築の再評価のための活動を行うとともに、取り壊しが予定される近代建築について保存活動に取り組まれています。また、ユネスコの諮問機関が解体予定の建物の保全を求める声明を出したこともありました。しかしながら、保存されることなく、壊されてしまった名建築も多く、神戸でいうとDOCOMOMO Japanに

登録されていた日本真珠会館が、今年、解体されてしまいました。



日本真珠会館（光安義光 1953）

そういう意味で、神戸ポートタワーがこのたび、耐震、免震化したうえで、新たな機能を付加し、リニューアルオープンしたことは1960年代建築マニアとしては大変喜ばしく、神戸のまちづくり、建物へのリスペクトの高さに感動しているところです。



神戸ポートタワー（日建設計工務 1963）



《アマリス》1919(大正8)年頃 油彩、カンヴァス 夢二郷土美術館蔵

生誕140年 YUMEJI展
大正浪漫と新しい世界

会場:あべのハルカス美術館
(あべのハルカス16階)
会期:2025年1月18日(土)~3月16日(日)
※会期中無休
時間:火~金/10:00~20:00
月土日祝/10:00~18:00
※入館は閉館30分前まで
問合せ先:06-4399-9050(あべのハルカス美術館)

モネ&フレンズ・アライブ

会場:デザイン・クリエイティブセンター神戸
1F KIITOホール (神戸市中央区小野浜町1-4)



会期:2025年1月4日(土)~3月30日(日)
休館日:月曜日(祝休日の場合は翌日)
1月9日(木)
開館時間:平日11:00~18:00
土日祝10:00~18:00
※最終入場は閉館60分前まで
問合せ先:キョードーインフォメーション
0570-200-888

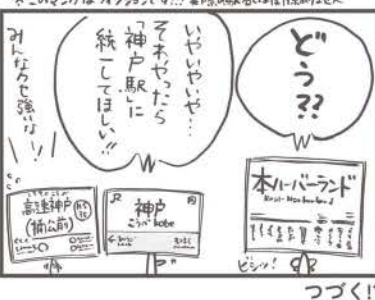
©Photo: Grande Experiences

読者プレゼント

観覧ご希望の方は、住所・氏名・年齢・本紙への一言を添え、本紙編集部までハガキでお申し込みください。先着順で3名の方にペア招待券をお送りします！

次は〜駅名ちゃん!

by. こうべまちづくり会館



クリーン作戦

栄町通クリーン作戦



左から
10月11日
11月8日
12月13日

参加企業

毎月第2金曜日午前10時、栄町通6丁目佐田野不動産前集合の上、実施しています。お気軽にご参加ください。

けんしんサービス㈱、(株)KKテクノ、(株)神明、神明倉庫㈱、新光明飾㈱、大一産㈱、兵庫県信用組合、広島銀行、佐田野不動産㈱、佐野運輸㈱、神戸市まち再生推進課、こうべまちづくり会館

ハーバーロードクリーン作戦

ネットトヨタ兵庫㈱



10月2日20名



11月6日25名



12月4日23名

エスタシオン・デ・神戸



10月2日6名



11月6日8名



12月4日8名

一言コメント

12月4日の清掃には、ネットトヨタ兵庫㈱と一緒に、中央区自立支援協議会の皆様が、エスタシオン・デ・神戸と一緒に神戸市まち再生課の西尾様と小林様も一緒に清掃活動されました。

元町みなと通信 file.1

未来に向けての景観まちづくり

高村昌幸 神戸元町商店街連合会 まちなみ委員



11月23日の全体会議①にて行われた、パネルディスカッションにて登壇する筆者(手前1人目)

さて今回の会議では、「都市景観を形成する歴史文化とのタッチポイントづくり」というテーマでのパネルディスカッションにパネラーとして参加させていただき、改めて「歴史文化」について考えるきっかけになりました。地域の歴史には、比較的触れる機会が多いのですが、「都市景観」に関する歴史や文化は、意識をしないと触れる機会が少ないのだと気付かされました。タイミング

良く、神戸元町商店街誕生150年もあり、その事を少し発表したのですが、景観まちづくりに関して、定期的に接する事が無い方々からすると、すこし「難しいテーマ」だと思われる？かもしれません。

2025年の開催地は神戸です。先日も第1回企画委員会が開かれまして、熱い議論が交わされましたが、「市民との接点、市民への認知」に関しての課題も出ました。さらに、2025年は「阪神・淡路大震災」から30年です。

昨今、「防災」に関しての意識も高まっております。横浜では、とても前向きに開催5都市での連携についても会議されました。景観まちづくりに関しては、今後も継続して取り組むテーマです。自身が関わりのある地域や都市の景観、まちづくりに関して、多くの方々に関心を持ってもらえるような神戸大会にし、未来につながる「景観まちづくり」に取り組んでいきたいです。

